**疎明書**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 被保険者に係る確認を行う日の2年前の日よりも前の期間に係る  雇用保険の被保険者となったこと（及び被保険者でなくなったこと）の届出に関する聴取   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 届出に係る者 | 氏名 | | | | | | 生年月日 | 年　　　　月　　　　日 | | 性別 |  | | 届出に係る者の雇用保険  料の天引きに関する事実 | 天引きを行うこととなった最も古い日 | | 年　　　月　　　日 | | | | 天引き を 行 っ た 直 近 の 日 | | 年　　　月　　　日 | | | | 提出する給与明細等の確 認書類について |  | | | | |   　上記のとおり聴取した。  令和　年　月　日  聴取者官職氏名　　　　 　　　　　　　印  　上記の聴取書を読み聞かせられたところ、私の陳述の趣旨と相違ない。  令和　年　月　日　　　　　　　　　　　　　　　　　 事業主 住所  名称  代表者氏名  電話番号  注意  １ 在職者に係る届出の場合には、「(及び被保険者でなくなったこと)」の文字を抹消すること。  ２ 「天引きを行うこととなった最も古い日」欄には、届出に係る者について、雇用保険料を天引きすることとなった  最も古い日を記載すること（通常は就職日が想定される。）。  ３ 「天引きを行った直近の日」欄には、届出に係る者について、雇用保険料を天引きした直近の日を記載する  こと（在職者に係る届出の場合には記載する必要はない。離職者に係る届出の場合には通常は離職日が  想定される。）。  ４ 「提出する給与明細等の確認書類について」欄には、事業主が提出する、雇用保険料の天引きがあった  ことが確認できる給与明細等の確認書類の名称(「給与明細」等)、当該書類の雇用保険料の天引きがあった  ことを確認できる該当箇所(「社会保険料等欄」等)、雇用保険料の天引きの事実の有無を記載すること。  (例)  ・　届出に係る者について、提出した給与明細の「雇用保険料」欄に記載された額のとおり、雇用保険  料の天引きを行っている。   * 提出した源泉徴収票の「社会保険料等の金額」欄に記載された額には、雇用保険料が含まれており、   届出に係る者について、当該欄のとおり、雇用保険料の天引きを行っている。 |